越ヶ谷宿の雛めぐり
宿場のまちあそび
レポート

運営事務局
株式会社まちづくり越谷
越谷市越ヶ谷3-3-16
TEL.048-940-8676

目的

- 宿場町としてもっと愛着をもってもらいたい
- 広場や路地、空き店舗の活用
- 軒先を積極的に活用したイベントの開催
  将来的に「二七の市」の復活につなげたい
- 小商いの実践の場とする
- 車両通行止めしないイベントの模索

開催概要

- 雛めぐり期間
  2023年2月23日～3月5日
- まちあそび
  2023年3月5日　10～15時
- 主催　越谷商工会議所
  越谷新町商店会
- 後援　越谷市
  こしがやエフエム
- 運営事務局　㈱まちづくり越谷

出店/参加数　103団体

- はかり屋　3軒
- 軒先shop　3軒
- 糀屋
- 商店会・沿道の商店/施設　26か所
- マルシェ　41店舗
- ステージ　10団体
- 小学校　4団体
- 犬と人のひろば　10団体
- まるこ横丁　10店舗
- ガーヤちゃんの蔵屋敷
- ツインシティA棟
- ツインシティB棟 越谷市民活動センター
- ワークショップ　2団体

メディア

- ちいき新聞　2月17日
- 読売新聞　2月19日
- がやてっく越谷　3月3日
- 埼玉新聞　3月7日
- 東武よみうり　3月14日
- こしがやTELE美Live配信　3月5日

2023年（令和5年）3月14日（火曜日）（2）

着物で「雛めぐり」楽しむ

越谷　ガイドツアーや演奏会も

東武よみうり

2023年（令和5年）3月14日（火）

THE TOBU YOMIURI SHIMBUN

越谷に家康の足跡

パネル展　市民でにぎわう

元草加市長　今井氏死去

宿場町を堪能！名物グルメやマルシェなどでにぎわい　着物姿で散策楽しむ人も　越谷で「宿場のまちあそび」

埼玉新聞

お出かけ・イベント　地域おこし　歴史・文化　越谷市

越谷市の旧日光街道沿い商店など約20カ所にひな人形を展示する「越ケ谷宿の雛（ひな）めぐり」最終日となる5日、マルシェやワークショップなどを楽しむ催し「宿場のまちあそび」が開催された。

越ケ谷小学校近くのイベント広場には、地元で有名な餃子やチュロスなど名物グルメが登場。アクセサリーや木工細工、キーホルダーのワークショップのほか、ヘッドスパやネイルなど約40ブースが出店した。

チアリーディングや津軽三味線、フラダンスといったステージショーは大盛況。家族連れらはグルメを堪能しながら、大きな拍手を送っていた。

着物の着付けも無料で体験もでき、来場者は趣ある旧日光街道沿いの散策を楽しんでい

ちいき新聞　北越谷・松伏版　2023.2.17 | 8

越ケ谷宿の雛めぐり～宿場のまちあそび～

ガイドツアーや徳川家康関連展示も

旧ぬ志徳陶器店で徳川家康こしがや館も

まちあるきガイドツアー（前回）

ひな人形の鑑賞も（糀屋／前回）

2023年（令和5年）2月19日（日曜日）

越谷と縁　どうして？家康

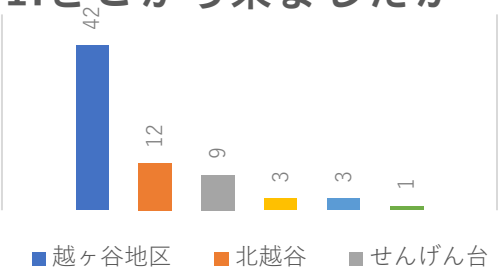
実は足跡　来月パネル展

タカ狩り　御殿　建設

八潮が染めた衣服の歴史

スタンプラリーアンケート　回答70件

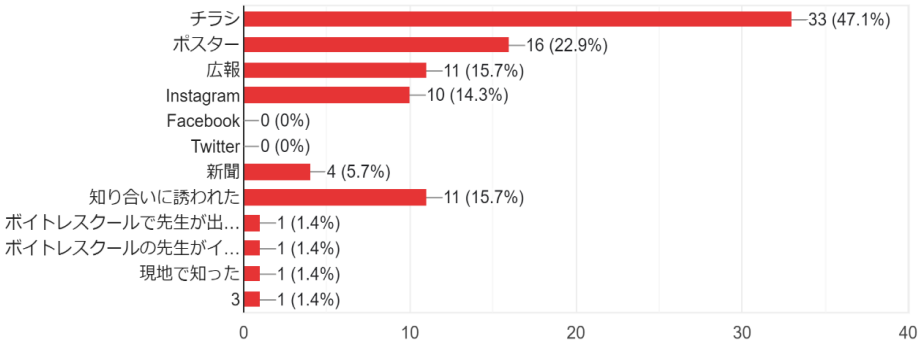
1.どこから来ましたか



越ヶ谷	60%
北越谷	17%
せんげん台	12%

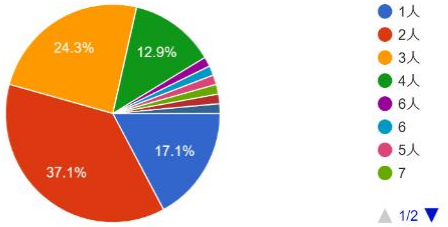
2.宿場のまちあそびをどこで知りましたか (いくつでも)

70 件の回答



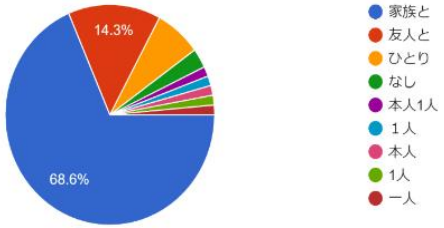
3.何人で来ましたか

70 件の回答

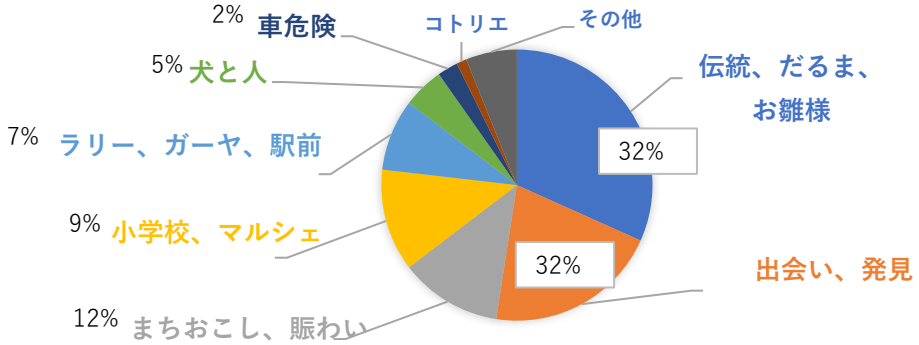


4.誰と来ましたか

70 件の回答

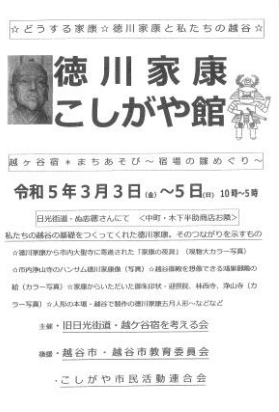


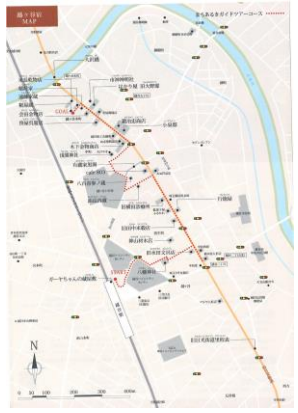
5.印象に残ったものはなんですか



越ヶ谷地区を中心に東武線沿線からの来場多い。家族が約7割。
お雛さまや伝統工芸を楽しみ、町並みや店舗などを新発見したと感じる人が多かった。犬の広場の需要が大きい。車の通行について要検討。

同時期開催／関連イベント等チラシ





当日の様子

Pearl

ガーヤちゃんの
蔵屋敷

"HOT SAND"
Hitiwa

季節の和菓子
岡埜製菓
TEL048
962-2539

豆すめぐみ
とうふ
木田とうふ店

反省　効果　今後の課題　　参加の皆さんからのコメント

- **来場者数　約5000人**

  来場者数をカウントした店舗・団体は11か所　延べ2500人以上

  ＊来場者はその2倍はあったと思われる

- **来場者**

  家族、親子連れ、30～40代、ファミリー層、高齢者、子どもから年配者まで幅広い

  キッズエリアでは　未就学児～小学生、子どもが多かった

  犬を飼っている人、関心のある人

  若い人が多かった

＊エリアや店舗によってタイプの違う来場者が来ている。

＊幅広い年齢層が来場した。広い会場設定、バラエティな出店者、

客は行きたいエリアを選んで来場していた。

売上について

- 多くの店舗で2倍以上の売り上げに繋がった
- 思ったより売れた
- ラリーの効果で売上が通常の2倍になった
- 通行止めしなくても売り上げは上がった
- マルシェ内飲食店は各店10万以上の売り上げ
- 他雑貨販売やワークショップ店舗は1.5～5万
- アライ洋品店閉店感謝セール　単価100～200円で16万の売上
- 犬用品が良く売れた
- 準備した商品の対象と来場者が合わず売上が伸びなかった

次回への課題について

- 期間の設定について、お雛様展示との調整
- 自転車置き場
- 車の通行量多く危ない（こども、きもの、犬連れ、ベビーカー）
- 通行止め又は片側通行
- 犬連れの動きのコントロール（入れる場所とは入れない場所）
- 埃っぽかった
- 音問題（周囲への配慮とステージの質のバランス）
- 場所分かりにくい　現場にMAPや案内板があるとよい
  （どこで何をしているか　効果的な宣伝を）
- 出店者により温度差があった、一体感の欠如
- 住宅街での開催の難しさ
- 小学校の校庭　もっと有効利用

スタンプラリーについて　交換：70件

- 1家族1枚としたことで前回よりかなり減った
  （前回家族分10枚交換という極端な例もあった）
- 人は回遊していたので効果はあった
- ラリー参加者のマナー
- ルールの徹底
- 台紙がどこにあるのかわからなかった。足りなかった
- 通行止めして回りやすくすれば全体の出店者を回れる

その他

- 来場者　東武線沿線が多かった春日部～草加
  ＊チラシの駅配置効果
- ラジオの設置、活気が出た
- 出店してよかった
- 越谷市にレイクだけでなく旧日光街道のポテンシャルをもっと感じて欲しい
- 空地の活用という発想おもしろい
- 片付け時の段取り、ボランティアへの指示を確実に

まとめ・今後に向けて

- 初めて来た人や新たな発見のあった人、いつもと違う客層が訪れるなど、越ヶ谷宿を知ってもらうきっかけになった。さらに周知するには継続すること。➡次回は2024年3月3日
- 軒先や空き店舗を活用してのイベントは、まだまだ工夫の余地があると思われる。協力してもらえる店舗を増やしていくにはどうしたらよいか。 要検討。
- 定期的な開催、日常的な開催には、車両通行止めしないイベントの模索が必須だが、多様な人（子供から高齢者、ペット連れ等）が次の開催を望んでいることを踏まえて、行政への働き掛けも必要。（週末片側通行の検討など）
- 地域住民や商店会との連携をさらに強め、参加したいイベントへ育てる。

YouTubeで、当日の様子を配信中

- 当日の様子を、こしがやTELE美さんが取材編集した動画がYouTubeでご覧いただけます。
  福田市長のご挨拶からステージやマルシェ、雛めぐり協力店舗の様子などを取材いただいています。

こしがやTELE美チャンネル
https://youtu.be/4KYmOqYXUbQ